

## 最近の学校のトイレ事情について

福 士 章 子\*

About the present conditions of the restroom at school

Ayako FUKUSHI\*

Key words : 学校のトイレ	The restroom at school
洋式トイレ	Japanese style toilet stool
和式トイレ	Western style toilet stool
トイレの衛生	Hygiene of the restroom
トイレの改修	Repair of the restroom

### はじめに

近年、自宅に洋式トイレしかない家庭が多くなり、学校で和式トイレを使用できない子どもが増えている。学校のトイレは、まだ和式が多く、清掃しても臭うような古いトイレの学校も多い。いずれは改修され、洋式トイレが主流になると思われるが、和式トイレには和式トイレの良さもあるし、少数派ではあるが和式を好む人もいる。和式トイレを全くなくしてしまうのはいかがなものか。また、日本ではトイレの清掃は児童生徒が行う学校が多いが、それは衛生的に問題がないのだろうか。学校のトイレはどうあるべきなのか、いろいろな面から考察したい。

### 日本のトイレの歴史的背景

日本ではもともとしゃがんで排便をするという習慣があり、戦前は汲み取り式の和式トイレだったものが、戦後の高度経済成長で水洗化した。その後、洋式トイレが一般家庭に普及し始めた。洋式トイレは男女兼用することができるため省スペースとなるので、公団など集合住宅は洋式トイレを設置するケースが多くなった。また足が不自由な高齢者や怪我をしている人も座った楽な状態で用を足せるというメリットがあるため、昭和50年代後半には洋式トイレが和式トイレの出荷

数を上回るようになり、現在、家庭では洋式トイレが一般的になった<sup>1)</sup>。しかし、学校においては平成28年の文部科学省の調査によると、公立小中学校におけるトイレの割合は和式が79万個(56.7%)、洋式が61万個(43.3%)でまだ和式トイレの方が多いのが現状である(図1)<sup>2)</sup>。

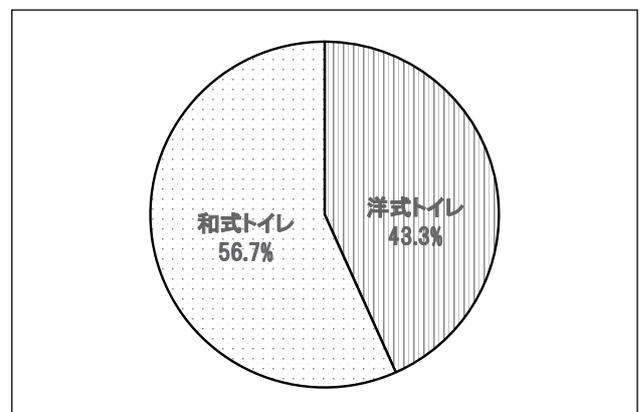


図1. 全国公立小中学校施設のトイレの割合  
(文部科学省 2016年調査より)

### 学校のトイレの現状

現在の日本の小・中学校の校舎は昭和40年代後半から50年代に建てられた校舎が多い<sup>3)</sup>。その頃は児童生徒数の急増に伴い、木造校舎から鉄筋コンクリートの校舎へと建て替えられたのである。当時はまだ和式の水洗トイレが主流だった。学校施設の改築の平均サイクルは約42年であるが、この時期に建てられた校舎が7割以上あるた

\* 東北女子大学

め、改築には膨大な費用がかかる。東日本大震災後、校舎の耐震性が問題になり、まずは、補修して耐震性を高めることが優先された。その結果、雨漏りや配管の破損など、放っておくと危険な箇所から修繕し、凌いでいるのが現状であり、トイレの洋式化などは、後回しとなっている。

### 和式トイレを使えない子どもの増加

和式トイレを使い慣れてない子どもにとって和式トイレで排便をすることは、意外に困難なのである。大学生対象の石田の調査でも 38.1%の人が学校では安心して排便が出来ないと回答し 88.8%の人が洋式トイレを好んでいた<sup>4)</sup>。経験の浅い小学生ならなおさら抵抗があると推察される。排便を我慢することは、便秘の大きな原因ともなり、子どもたちの健やかな成長の妨げとなる。小林製薬の「小学生のトイレ実態調査 2017」によると、学校で全く排便をしない子どもは約 3 割に上ることが判明した<sup>5)</sup>。また、約半数の子どもが学校でトイレに行かず排便を我慢した経験があることも分かった。学校で排便をすることに対して抵抗を感じている子は約 6 割に上りそれは特に和式トイレの多い小学校の子どもたちに、その傾向がより強くみられた。

また、小林製薬「小学生のトイレ実態調査 2016」によると、男女でも大きな違いが見られ、排便をすることによって「からかわれそう」と感じるのは、女の子よりも男の子の方が多いということが分かった<sup>5)</sup>。男子トイレ特有の小便器と個室が共存する構造により、「個室に出入りすることによって、排便をしているのが周囲に知られ、からかわれてしまう」と感じている男の子の気持ちがうかがえる。こうした問題を解消するために学校の男子トイレを完全個室に改修する自治体も出てきている。

### 和式と洋式、どちらが衛生的か

和式トイレで排泄する際、便器の周囲に尿を飛ばしたり、便を付けてしまうことが多い。これは、小学生に限ったことではないが、小学校低学年では、特に多くみられる。尿の飛び散りは、しゃがんだ時に両足の膝をくっつけるように足を閉じれば防げるのだが、そのように指導をしている学校はほとんどないのが現状である。そうすると、和式トイレは便器の周りが汚くなるのは当然である。2012年にTOTOが公立小学校で行った大腸菌の測定調査によると、和式トイレの便器の周囲は大腸菌数が多いことがわかっている(図2)<sup>6)</sup>。

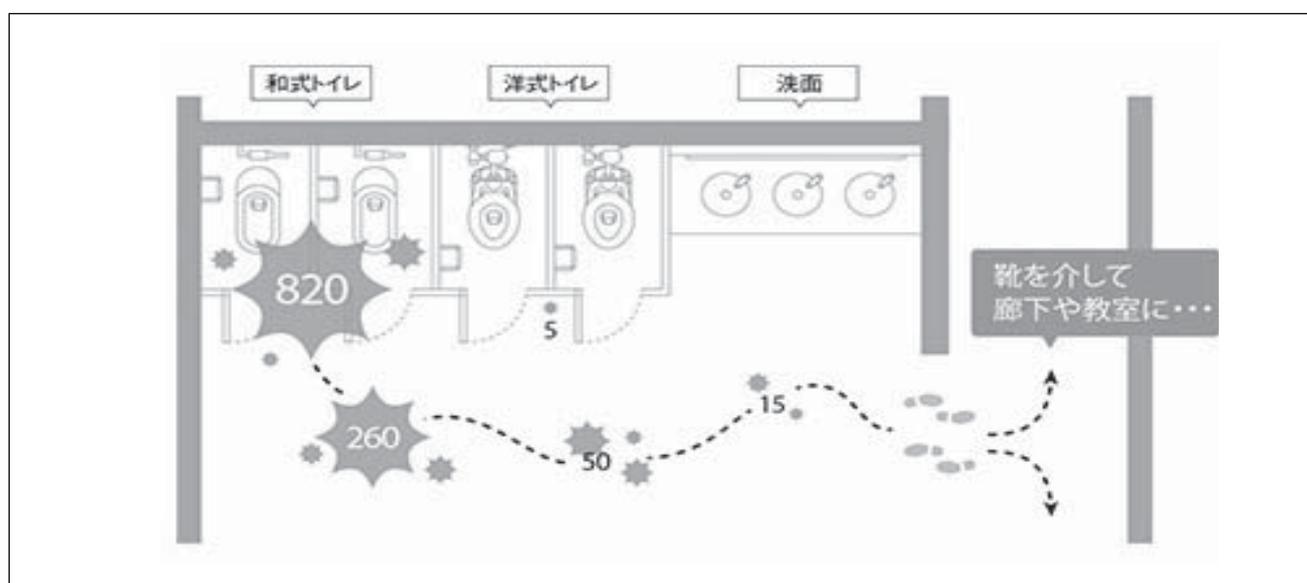


図2. 公立小学校でのトイレ内糞便由来菌汚染度 (大腸菌 CFU/cm<sup>2</sup>)  
(2012年 TOTO 調査より)

上靴を介して大腸菌が廊下や教室に持ち込まれることも考えられる。和式トイレの周りが汚いと、ますます児童は和式トイレが苦手になる。

和式トイレに比べ、洋式トイレは、便器外への便の付着は少ない。大腸菌の数も少ない。ノロウイルスなど、感染性胃腸炎の流行時は、洋式トイレの方が蓋ができることもあり、断然に和式トイレよりもウイルスの拡散を防ぐことができる。

石田の調査では、「洋式トイレは大勢の人が使用するのに便座に直接肌に付けなければならず嫌だ」という意見が多かった。確かにたまに便座に尿が1滴付着していることを見かけることもある。また、前の人ウォシュレット機能を使用して、便座の後方に水がはねているときもある。洋式トイレも決して衛生的とは言いがたい。また、洋式トイレに男性が立ちながら排尿する場合、目には見えない尿のしぶきが便器の周囲に付着することもあり、小さい子どもや、尿の切れが悪くなった高齢者は、便器の周囲への尿を垂らしてしまうことも多々ある。また、石田の調査では「ウォシュレット機能が付いているから洋式トイレの方を好む」という意見も見られたが、家庭での使用はともかく、不特定多数の人が使用する公的トイレでは、ウォシュレットのノズル部分の汚れや細菌数が気になる場所である。

### 和式トイレのメリット

トイレを改修したり、校舎を新築したりした学校では、和式トイレが1つもないという学校も多い。短い休み時間の中で多くの子どもたちがトイレを効率よく利用するために子どもたちが使いたがらない和式トイレを設置しないということである。和式トイレが1つでも残っていれば、ウイルス感染のリスクが高まるという意見もある。だが、和式トイレの良さをあえて見直してみたい。1つは、前述した直接便器に肌を付けなくても良いという点である。さらに、石田の研究の和式トイレを好む人の意見の中に「和式トイレの方が力みやすく排便しやすい」という意見があった<sup>4)</sup>。これは、人間の体の構造として、しゃがむと骨盤

が安定するとともに、大腿部が下腹部を圧迫することにより、腹腔内の圧力が増し、肛門を自然に開口することができるからである。排便姿勢はやや前傾姿勢がもっとも適しており、つまり和式トイレの姿勢は便秘になりにくいのである<sup>7)</sup>。

### 学校のトイレは誰が清掃すべきか

日本では、児童生徒が清掃をするという慣習がある。清掃の時間は、時間割にも組み込まれており、清掃指導は学校教育の一環となっている。トイレの清掃は、自治体によっては、技能主事や清掃業者が行うことになっているところもあるものの、学校のトイレ研究会の調査によると、約9割の公立学校では児童生徒が行っている<sup>8)</sup>。海外では、トイレ掃除は大人の仕事であり、トイレ以外の教室などの清掃も子どもたちにはやらせない国も多い。

日本でもトイレの清掃を子どもたちに任せるのは、賛否両論である。道徳的観点からは賛成する声が多いが、ノロウイルスなどに感染するおそれもあるので、子どもに任せるのは危険だという意見もある。

また清掃のやり方や用具についても、定められた自治体は少ない。使い捨て手袋や使い捨ての除菌シートなどがあれば良いのだが、予算の関係もあり、使い捨てのものを使用している学校は少ないのが現状である。

医療機関ではスタンダードプリコーション（標準予防策）という考えに基づき、血液や便、尿、吐物などは、感染する可能性のある物質として慎重に取り扱う。学校のトイレもこの考えに基づき、経血や、尿や便、吐物などが便器周りに付着している危険性をふまえて、子どもに清掃させる場合も、十分な指導を徹底すべきだと考える。

### まとめ

多くの子どもたちは学校で排便する事に抵抗がある。できれば、早寝早起きし、きちんと朝食を摂り、登校前に排便も済ませる生活習慣を作るのがベストだろう。しかし、食べたものや体調、体

質などで、学校にいる時間に便意に襲われることもあるだろう。そのときは、我慢せずに学校で安心して排便できる環境作りを周りの大人が心掛けていく必要がある。そのためには、子どもが使いやすい洋式トイレの設置や衛生面を重視したきめ細やかな清掃指導とトイレの使い方指導をすべきである。ただ単に洋式トイレにするのではなく、和式トイレの良さも見直し、和式トイレの正しい使い方を教えていきたいものである。

### 引用文献

- 1) 日本トイレ協会：トイレ学大辞典，富澤凡子，柏書房株式会社，東京，2015
- 2) 文部科学省ホームページ：公立小中学校施設のトイレの状況調査の結果について  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/28/11/1379078.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/11/1379078.htm)
- 3) 文部科学省ホームページ：学校の施設の老朽化対策について 平成 25 年 3 月 15 日  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/25/03/1332017.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/03/1332017.htm)
- 4) 石田ひかる 「学校での排便に関する研究」 東北女子大学卒業論文 2017
- 5) 小林製薬ホームページ：「小学生のトイレ実態調査 2016」  
[http://www.kobayashi.co.jp/corporate/news/2016/161003\\_01/index.html](http://www.kobayashi.co.jp/corporate/news/2016/161003_01/index.html)
- 6) 株式会社 TOTO ホームページ：「学校のトイレに求められていること」 2012  
[https://jp.toto.com/products/public/school/needs/old\\_toilet.htm](https://jp.toto.com/products/public/school/needs/old_toilet.htm)
- 7) 森田幸弘 「知って得する病気の話～便秘について（消化器内科）」 平成 30 年 4 月 24 日  
<http://www.municipalhp.hikone.shiga.jp/0000000396.html>
- 8) 学校のトイレ研究会 「学校のトイレの清掃は誰がしている？ 2015 年度全国公立小中学校調査結果」 2015  
[https://www.schooltoilet.jp/toiletpoint/2018planpoint\\_013.html](https://www.schooltoilet.jp/toiletpoint/2018planpoint_013.html)